

講義名	研究演習 (商・経)		
講義コード	15209	授業形態	
担当教員	島田 奈美	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限
		サンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
商学部 経営学科 商学部 マーケティング学科	財務会計論

概要説明

本演習では、会計制度の動向とそこで生じる問題をを中心に研究をします。会計制度の仕組みについて学習した後、みなさんが発見した問題について、企業が実際に公表するデータを活用した分析を行います。卒論制作を通じ、制度的背景を把握した上でデータ分析し、論理的に意見を発信する能力を身につけることを目指します。

また、会計ゲームなどを通じて、簿記一巡の手続きの流れと経営の意思決定について楽しく学んでいきます。日商簿記検定試験などの資格試験の相談も受け付けています。

本演習は、商学部、経営学科、会計コースにおけるディプロマポリシーの達成に寄与します。

商学部
供給者と生活者の複眼的視点に立ち、マネジメントの諸問題を解決できる。

経営学科
(1) 各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる。

会計コース
(5) 簿記・会計の学問的知識を身につけ、企業の財政状態、経営成績、キャッシュフロー等に関する情報を作成、分析することができる。
(5) 企業の社会的役割を理解したうえで、修得した専門知識をもとに企業が直面する問題や企業の強みを発見し、経営戦略の構築に貢献することができる。

主な卒業論文のタイトル

テーマの選び方について
会計に関係していれば何でも良いですが、特に希望が無い場合には研究演習 までに学んだテーマから選んでいただけます。

過去の卒業論文のタイトル
・国際会計基準のアドプションによる我が国への影響
・我が国の電子情報開示システムにおけるXBRLの導入とその課題
・倒産予測に使える財務指標とその有効性
・中国新企業会計基準とIFRSとの差異比較と同等性問題について
・各種業界の経営分析による会社比較 など

教員からの要望

会社が公表している情報を上手く活用するためには、簿記・会計の知識が必要となります。

簿記・会計の知識を獲得するためには、時間をかけて勉強する必要がありますので、本ゼミでは課された課題に真摯に取り組む学生を歓迎します。

また、勉強の成果を披露し合い意見を交換するためには、ゼミ生同士の人間関係が大事になるので、レクリエーション(演習内でのアイスブレイク、定期的な懇親会など)にも楽しんで取り組んで欲しいです。

選考方法

<選考方法>
個別ガイダンスなどの機会を通じて、対面で面談を実施する。
応募書類の内容に基づき評価する。

<望ましい姿勢・能力・経験>
簿記・会計の学習経験。資格取得の有無は問わない。
欠席はゼミ運営に大きく影響するので、なるべく毎回出席できる学生を希望します。

評価方法

報告の内容・態度(50%)、成果物の内容(40%)、その他ゼミ運営に対する貢献度(10%)で評価します。
ゼミ運営に対する貢献度には、こちらからの連絡へのレスポンスも含まれます。

到達目標・成果物

<到達目標>
企業の決算書から会社の経営状況を判断できるようになる。
会計のレールの基本的な部分を理解できるようになる。

<成果物の例>
研究演習：報告資料
研究演習：財務分析レポート(実数分析・一部収益性指標)
研究演習：卒業研究の簡易版レポート(約1万字)
卒業研究：各自が選んだテーマに沿って作成した論文(約2万字)

教員英字氏名	研究室
Nami Shimada	研究棟 7階 2703研究室

最終学歴

関西大学大学院 商学研究科 会計学専攻 博士課程 後期課程修了

学位

博士(商学)

主な研究活動・社会活動・研究業績

会計政策、のれん会計の国際的な動向
公立病院の会計制度および財務分析
など

趣味・特技

特になし

所属

商学部 経営学科

所属学会

日本会計研究学会
国際会計研究学会
日本経済会計学会
経営哲学学会
中小企業会計学会

専門分野

財務会計
国際会計

担当科目

商業簿記
基礎簿記
連結財務諸表論
国際会計論
企業会計学入門・会計学入門

備考

実務経験の有無及び活用